

# 玄海

# Genkai

Associação Fukuoka do Brasil  
ブラジル福岡県人会

Boletim Informativo Nº 26 Outubro/2008



Rua Satumo, 238 Bairro Adimação São Paulo -SP CEP 01531-030 Tel (55 11) 3208-3123 Fax (55 11) 3341-2603 fukuoka.kenjinkai@nethall.com.br

## 福岡県人会2008年10月までの主な行事(要約)

3月6日 - 17日

母県より5名の青少年と国際交流センターの緒方有紀職員が青少年フロンティアプログラムで来伯、これに西日本新聞社より内門博記者も同行しブラジルでの12日間の全日程を無事に終了。17日夜グアルリオス空港より日本向け離伯した。

3月23日 - 4月3日

福岡県人会は郷土福岡の歌手のハルさん夫妻の訪伯公演に際し、サントス厚生ホーム、グアルリオス市立劇場、ピリチーバミリン日本人会館、スザノ市立劇場等へ誘致し、公演サポートを行なった。

4月27日

恒例の第11回福岡県人会運動会をソロカバ市郊外に在る中村勲顧問のシャカラ(農場)にて催す。約250名余りの参加者がある。

6月17日

福岡県知事杯争奪戦ゲートボール大会が連合コートで近郊支部より12チーム参加して開催された。当日は県知事の来賓を希望し、日程調整をするもスケジュールの都合がつかず残念ながら実現に至らず。

6月19日

福岡県よりブラジル移民100周年式典出席の為、留守家族会、武藤英治会長を団長に総勢62名の到着。県人会より会長他役員が出迎える。前日来伯の麻生渡県知事、県議会議員グループと一部の留守家族会はスザノ市にある福博村を視察した。会場には鯉のぼりも揚がり、準備上々だったが日本とブラジル双方からの航空便の遅れで駆け足視察となってしまったのは残念でした。その後、19時30分より県人会主催の歓迎会はブッフエ コロニアルにて約350名(総数)の出席者が有り、多めに盛り上がり、最後にはサンパショウで締めくくった。

又、同日10時から文協にて海上自衛隊の合同歓迎会続いて12時から福岡県出身の自衛隊員43名の内、上陸した22名の隊員を引き受け、県人会主催の歓迎会をレストラン(まこと)にて催した。

6月20日

麻生渡県知事、県議会議員、及び留守家族会がスザノ市にある行徳セラミカ工場を視察、これに同行。

6月21日

11時20分 麻生渡県知事はじめ、県議会議員、一部の留守家族会の一行はイビラフェラ公園内にある先没者慰霊碑を訪れ、3団体の代表による献花が行われた。

6月21日

14時よりアーニェンピ会場にて举行されたブラジル日本移民100周年記念式典に 御臨席の皇太子殿下、福岡県からの慶祝訪問団、ブラジル側からも役員一同出席する。生憎の雨も皇太子殿下の御到着時には止み、式典も無事におわる。19時30分から福岡県知事主催の夕食会に出席する。県人会からは約100名が招待された。最後は全員でふるさとの炭坑節でお開きとなった。

6月29日

ピリチーバミリン市の日本人会館への花見、本部から40名、スザノ支部より22名参加者があり、バス2台での花見となる。途中 鶴我氏の農場を訪問、茶菓子などの接待を受ける。又 本部から先きに日本から頂いた鯉のぼり約70匹程と市町村旗などで会場作りに協力、大変感謝された。

7月18/20日

恒例の第11回県連主催のフェスティバル ド ジャボン(日本祭り)が移民百周年の記念すべき年に当たり、举行され各メディア等でも毎日報道された。県人会では、母県の慶祝団に頂いた博多どんこつラーメンと、婦人部のかしわめし、千鳥饅頭を出品し大好評だった。皆さんお疲れ様でした。

10月5日

第10回福岡県人会主催のカラオケ大会がなにわ会館にて行われた。今年もプログラムの広告には Hospital Brasil(高島末敏相談役)、Ceramica Gyoutoku(行徳直幸相談役)より特別に大口の広告を頂き、役員の皆様からも沢山の広告を頂き、又当日は江口勇二Itaim Bibi支部長より特別な寄付も頂きました。又、当日はSanto Andre, Guarulhos, Suzano市支部及び Cidade Ademar 支部等からは会員以外の方々にもご協力頂き有難う御座いました。

## 「平成20年度海外福岡県人会子弟招へい事業」に関し、

(財)福岡県国際交流センター)の武宮 美紀職員のリポートを引用させていただき、こども達の御礼のメッセージと併せてプロジェクトの模様をご紹介します。

～福岡県出身の海外移住者の子供たちが福岡へやってきました～

7月12日(土)～24日(木)12泊13日の日程で、ブラジル、ポリビア、コロンビア、ペルー、米国の移住国から、10歳～12歳までの子供たち18名が引率者とともに福岡へやってきました。子供たちはそれぞれ2世から5世にあたり、初めて訪日する子供たちもいました。

この事業は、海外福岡県人会の子供たちを福岡に招き、文化や風習の違いを実体験することで、福岡・日本に対する興味・関心を持ち、理解を深めてもらうこと、また海外福岡県人会の今後の活動の核となる後継者の育成を目的に、本年度からスタートしたものです。

12日間の日程中は、大島小学校の訪問したり、和太鼓・和ごまなど日本文化体験を通して、同世代の子供たちと交流しました。さらに、アジア太平洋子ども会議(APCC)でのパフォーマンスに出場するため、南京玉簾を猛特訓し、当日は、みんな少々緊張気味でしたが、皆息もぴったりの演技を披露し、パフォーマンスは成功に終わることができました。

そのほか、日産自動車九州工場、小倉城、ロボスクエア、太宰府天満宮、九州国立博物館等の見学、福岡の夏の伝統行事・山笠の見学、新幹線乗車体験、野球観戦など、忙しい日程でしたが、福岡の街を満喫し、その魅力に触れることができました。

また、期間後半には、家族会や親戚宅などへのホームステイを通し、日本の生活習慣も少しだけ体験しました。

ちなみに、このプログラムには、期間中ずっと、県費留学生たちも招へい者らと寝食を共にし、また、積極的に子供たちのサポートをしてくれました。そのような県費留学生らの頼もしい姿を見て、将来、自分もしっかり勉強して、県費留学生として、また日本にきたいという子供も多数見受けられました。長いようで短かった12泊13日の日程を終え、皆、一回りも二周りも大きく成長したようです。来年もたくさんさんの参加をお待ちしています!!

### 子供たちの報告書 (ポ語原文を編者要訳)

福岡のみなさん

田中 メリッサ

太鼓やフォゲイラ、コマの紹介そして福岡タワーなどが気に入った。なぜ太鼓かと言うとリズムがとても素晴らしいから、また焚き火は感動的だった、いろんな駒の紹介もまた気に入った。福岡タワーの上からたくさんきれいなビルディングが見えた。それから覚えたことはお風呂で入浴する習慣があることや朝のコーヒーのときご飯と味噌汁を飲むのです。おわりにこの交流に私をご招待いただき、大変感謝します。

お世話になった皆さんが恋しく、もう一度帰りたいです。

日本のお友達のみなさん

秋吉 真二

私は、素晴らしい福岡で、私達をお引き受けいただき、親切にしてくださいました事にお礼申し上げます。ブラジルに帰ってきたばかりなのに、もう福岡が恋しいです。お世話になったみなさんや、にっぼんの子供達、よその国からのおともだちとご一緒したまいにちがわすれられません。これから、たくさん勉強して、いつか日本へ帰りたいです。みなさん、こんどはブラジルへきてください。

日本のお友達のみなさん

山下 力

私は、私とわたくしのともだちの日本訪問のあいだ、親切にしてくださいましたことおれいをいいます。そして、何日間もあちこちへ一緒頂いたことにも感謝します。お仕事されているところで県知事に再会できた事、大島と言う島へ行ったことがすばらしかった。最高に気に入ったのがロボットがあったところやニッサン自動車の工場に行った事、こども博物館へ行った事、野球の試合を見に行ったこと、太鼓や駒の学校へ行ったことです。ええ、すべて最高だった!!!

みなさんほんとうにありがとう、

福岡県知事さまと日本旅行にかんする関係者のみなさまへ

メンデス三坂ジョヴァンナ

私はこのたびの福岡行きの機会を与えてくださりました事にお礼を申し上げます。日本文化の習慣を知ったり、特に体験した事、新しい友情ができた事、福岡タワーやロボスクエア、子供博物館や観光名所を知った事、新幹線列車にのった事、野球場に行った事などなど、ゆめのような今回の旅行で行った先々の、その時その時を決して忘れられない。また、地球のような福岡ドーム、めかり山荘、大宰府グランドホテルなどでいつも私たちに良くお世話いただいた事にも感謝します。本当にありがとうございます。

本紹介は次会報へ続く

## ブラジル日本人移民百周年 福岡県慶祝訪問団をスザノ福博村に迎えて

スザノ支部 梶本 茂雄

ブラジル日本人移民百周年記念式典出席のため、母県、福岡より総勢83名に及ぶ大型慶祝訪問団が来伯されることになった。

我々が慶祝団のスザノ訪問を知ったのは一行の概略スケジュールが大体決まった訪問約1ヶ月前の5月中旬であった。

福博村、行徳セラミカ工場視察の2ヶ所、当初はどのようにお迎えすればよいのか皆目見当がつかず不安であった。何度も県人会本部と連絡をとり、必要な会合には会長、副会長にスザノまで出向いてもらい出席していただいた。

行徳セラミカ工場では奥田知事訪問以来の出来事であり、福博村にいたっては1965年鶴崎知事以来の、実に43年ぶりの現職知事訪問となる。この度の慶祝団のスザノ訪問は麻生知事一行、貞末議長を代表とする県議会議員団、そして武藤議員を団長とする海外移住家族会の3つのグループで構成された総数58名を迎える事になった。

式典のための資金調達も、支部の手持ち金と会員各家庭を訪問して得たご好意の寄付金でまかなう事になった。一行の滞在時間は福博村40分、行徳セラミカ工場で60分と日本よりの指示と事前の打ち合わせで決まっていた。当然のことながら、滞在時間次第で式典の内容も微妙に違ってくるのだが、スザノ訪問のあと予定されている県人会主催の慶祝団の歓迎会の時間を考えるとこれ以上スザノでの訪問団の滞在時間を引き延ばすわけにはいかなかった。いよいよ一行訪問の当日 6月19日となった。

朝より天気恵まれ、絶好の式典日になりそうだった。昼を過ぎるころから会場の福博会館に多くの人が集まりはじめた。式典開始時刻が近づくにつれ一抹の不安があった。というのは事前に訪問団一行の航空便の到着が遅れているとの連絡をうけていた。しかし式典が始まるまでにはまだ時間があつたので数十分程度の遅延であれば何とかできるのではないかと甘く考えていた。

しかし、実際には訪問団一行が到着したのは知事、議員団のブラジリアからの国内便が2時間遅れ、一方当日19日朝到着予定の日本よりの海外移住家族会のJAL便が約4時間遅れてしまった。

我々にとってもこの出来事はなすすべもなく、できるだけ冷静に対応するようにつとめた。

最初に福博村に到着されたのは、想定と逆で日本からの家族会一行であった。

34時間長旅で昼食抜きの日本よりの遠客である、全員が到着するまで待つていただくわけにはいかなかった。予定を変更して家族会一行の団長の武藤議員を中心とした歓迎式典を始めた。知事議員団一行のバスが着いたのは第一回簡略式典が終わったあとであった。

すぐに再度の式典という異例の事態であったが皆さんの協力で終了した。

冷静に対応したつもりであったが、周りの方々、また日本より訪問された方々に少なからず迷惑、あるいは何か不具合をかけたのではないかと反省している。

残念ながら予定されていた行徳セラミカ工場視察は時間の都合上、翌日の20日に急遽変更された。

不可抗力な出来事であったが、多くのことを学ばせていただいた一日であった。

ホッとすると間もなく、本夕の県人会主催の訪問団歓迎会出席のため待たせていた小型バスにてサンパウロにむかう。

明日の行徳セラミカ工場視察の行事変更を頭に描きながら。



### 県人会各地貢献者の急逝のお知らせ

1972年を最後に移民船が途絶え、県人会の活動内容も変わってきたが、昨今は、これまで県人会運営を支えてきた各地の支部長さんや旧役員の方々との永久のお別れが多くなっている。思い付くままにお名前を挙げれば、故竹内 勲元事務局長、故宗 友夫元副会長、故田中 ジョルジ元ベレイラバレット支部長、故諫山 誠ピラソニア支部長、故吉原 善次顧問、故石橋 定那プレジデント プルデンチ支部会計等々 その他、故石井 チエ会員（マリリア支部）、故井上 敏江会員（カンボ リンゴ支部）、故青木 あさえ会員（リンス支部）、故貴島 隆会員（サント アマーロ支部）、故井上 国男会員（ビエダーデ支部）、故高松 芳夫会員（スザノ支部）、故木橋 重明会員（パウルー支部）、故井上 哲夫会員（ピラマチウチ支部）、故伊福 貞子会員（アクリマソン支部）、故清水 澄子政典氏ご母堂（サンベルナルド カンボ支部）故大坪 正俊会員（ツパン支部）、故大坪 末喜会員（ツパン支部）、故上村 岬会員（ツパン支部）、故井上 春雄氏グアルーリョス元支部会計御仏のご冥福を祈り、又ご遺族の方々に改めてお悔やみ申し上げ、謹んで会員の皆様にお知らせ致します。

合掌

### 新事務局長挨拶

この度、7月31日を以って 当県人会の事務局長 浦川 潔氏が健康上の都合で退職され、その後を引き継ぐ事になりました 坂野 智子と申します。 この齢になって、パソコンを扱うことになり 前任者、理事の皆さんにご迷惑をお掛けしながら、時々 コンピューターの画面がどこかに消えてしまい、真っ青になりながらも何とか 今の所持ちこたえております。

見習い中に、幸か不幸か 日本移民100周年式典があり、戸惑うこと多々ありましたし 一方、福岡県人会の人達はいつも和気合い合いでゲートボールやカラオケ大会、花見ピクニックなどお元気で活躍されておられ、感心することばかりです。

年々、高齢になる会員の方々一世代に代り、世代交代で子供達がいつの日にか『自分達の祖父母の里である福岡に関心を持って頂こう』と、微力ながらお手伝い出来るよう努力してゆく所存です。どうか宜しくご指導の程お願い致します。

坂野 智子

### 婦人会と青年部リーダーからのお知らせとお誘い

この度、婦人部と梶本さくらさんを中心に、博多どんたくの団体踊りを練習しようと計画しております。博多どんたくは皆さんご存知の方も多く、炭坑節と共に福岡の代表的な唄です。

今から練習をして、出来れば2010年のブラジルで行なわれる世界大会で みんなで輪になって踊ろうと考えています。 やってみようご希望の方が居られましたら、希望者の名前または支部名と人数を県人会までお知らせください。

練習のグループを組み、道具と半纏を準備し、先生の日程を調整します。